研究部会報告

◉意思決定のための会計情報◉

• **第3回**

日　時：6月25日(土)　13:30～16:00　場　所：慶応義塾大学ビジネススクール　出席者：10名

内　容：(1)在庫政策の経済性と会計情報（東京理科大学：山口俊和）

(2)Ferraraのキャッシュ・フロー・モデル(慶応義塾大学：伊藤和憲)

(3)戦略的設備投資計画のための支援システムの開発（慶応義塾大学：福川忠昭）

◉信頼性・保全性◉

• **第3回**

日　時：6月25日(土)　14:30～17:00　場　所：東京工業大学経営工学科中棟1号館674

テーマ：ノンコヒーレント系と信頼性における数値計算について

講　師：稲垣敏之氏（筑波大学電子情報工学系）

ノンコヒーレント系の信頼性定量化手法の概略が述べられ，続いてコヒーレント系ならびにノンコヒーレント系の信頼性定量化に必要なパラメータを計算するための連立積分方程式の数値解法に関して解説がなされた．3件の文献紹介が行なわれた．

• **第4回**

日　時：7月16日(土)　14:30～17:00　場　所：東工大経営工学科

テーマと講師：

1.　季節による故障要因の変動と競合を考慮した故障特性推定法　阿部俊一（青学大）

2.　鉄道車両の信頼度解析　有山勝恵(国鉄鉄道技研)

競合的に作用する故障要因が季節によって変動する場合，マルコフ再生型の故障モデルで機器の故障発生傾向を季節別，要因別に推定する方法を述べ，国鉄の車両故障にあてはめ，故障発生傾向に季節差があることを眺め，検査実施方策に検討の余地があることが示された．

◉未来分析◉

• **第7回**

開催日時：7月9日(土)　14:00～17:00　場　所：東京都勤労福祉会館，参会者：15名

議　題：社会構造からみた中国の未来　井上喜代重

ある国の将来を考える場合，その国を支配している社会構造の原点から演えきすると正鵠を得たアプローチができるのではないかというのが本部会のねらいであった．かつて同氏は日本の近代化を支えてきたのは，江戸時代以来の職能社会の仕組みにその源流を発見したことがあったが，同様に中国の近代化の行方についても，中国の職人社会の構造を洗うことによってその動向を予見できるとしたものであった．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

●待ち行列システム●

• **第4回**

日　時：7月16日(土)　14:30～17:10　場　所：東京工業大学（情報科学科会議室），出席者：30名

テーマと講師：

• QS4-1　ある再呼モデル（町原文明・武通研）
—M/G/1/1モデルおよびM/M/S/Sモデルに対する再呼方式において，再呼間隔が一般分布の場合の近似解析—

• QS4-2　拡散近似　（大曽根　匡・東工大）
—待ち行列理論における拡散近似解法のサーベイ—

• QS4-3　第10回国際通信トラヒック会議（ITC10）出席報告　（上田　徹・武通研）
—会議では，待ち行列理論，通信網の設計・運用，通信トラヒックの測定・予測等に関する論文が約 160件発表された．次回は1985年9月に京都で開催の予定—

●数理計画(九州)●

• **第2回**

日　時：6月18日(土)　場　所：九州大学理学部数学教室　出席者：25名

(1)「領域極配置とその応用」近藤英二（九州大学工学部）

線形定常制御システムにおけるフィードバック系の極配置問題に対する一般的解法および解の性質を論じ，二乗積分偏差の勾配射影法による最小化，発見的解法にも触れた．

(2)「n人協力情報ゲーム」甲斐　裕（福岡女子大）

プレーヤーが互いに他者について情報を得ようとする立場から逐次ゲームを考察し，協力と情報量の関係および全情報量の獲得などを中心に論じた．

■DP研究グループ■

• **6月**

日　時：6月29日(水)18:00～20:00　場　所：日科技連　出席者：有水，蔵野，丸山，小田中，以上4名

議　題：熱貯留材としての地下水の利用について（有水　彊）

水量，水質に関する地下水の研究は，これまで論じられてきたが，ここでは，貯熱材としての地下水の利用について述べる．すなわち，夏期太陽熱によって高温化された温水を地下水として貯え，冬期これを汲み上げて使用する．また，その逆に冬期の冷水を夏期に使用することを提案する．

会合記録

（　）内は人数

編集委員会(OR誌)	7月6日(水)(8)
企画小委員会	7月11日(月)(6)
モニター委員会	7月13日(水)(2)
理事会	7月14日(木)(20)
IAOR委員会	7月28日(木)(2)

第2回理事会議題(58年7月14日)

1. 第1回理事会議事録の件
2. 入退会の件
3. 会員増強の件
   1) 入会申込書のOR誌とじ込み
   2) 推薦者の1名化
4. OA化委員会設置の件
5. 長期計画に対する会員提言の件
6. 学術会議の動向と対策
7. 研究グループ新設申請の件
8. 秋季研究発表会の準備状況
9. ORセミナー企画の件
   テーマ：乱数パッケージ
   講　師：渋谷政昭（慶応義塾大学教授）
10. 報文集T—83—1発行の件
   「地理的情報の処理に関する基本アルゴリズム」頒価 6000円
11. 昭和58年度第1四半期収支決算報告の件
12. 第10回国際OR会議への日本代表論文推薦の件
   ①Queueing Models for Congestion Control in Systems
   川島幸之助，橋田　温（武蔵野通研）
   ②A Cost Information System for R & D and Production Management Programs as Applied to A Solar Cell Development Project
   刀根　薫(埼玉大)，若山邦紘(法政大)他
13. 国際活動について提案とお願い
14. OR誌特集テーマの件
15. 支部総会報告（北海道・東北）の件
16. その他
   ①日本国際賞の件
   ①年表配布の件

入退会

(58.5.18～7.14)

入会（正会員）

井上　博司	岡山大学
市田　浩三	京都産業大学
門田　良信	和歌山大学
亀崎　憲光	糧友製パン㈱
北野　孝一	㈱インテック
小坂　　武	日本ユニバック㈱
小林みどり	長崎大学

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.